



令和6年度豊浜中学校区小中一貫教育研究テーマ

主体的・対話的に深く学び，思いを表現する児童生徒の育成 ～全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫の充実～

小中合同運動会

5月18日(土)
豊浜中学校にて

天候に恵まれ、絶好の運動会日和になり、豊浜中3年生の田村さんの号砲でスタートしました。今年度は、コロナ前と同じ、行進による入場も行いました。児童も生徒も堂々とした行進を行い、とてもすばらしかったです。



運動会のテーマは、『桜梅桃李

～「努来勝(どっこいしょ)!!」 走れ・跳べ・輝け、勝利の花を満開に～』です。

一人一人が自分を磨き、自分の個性を生かして頑張ることで、勝利の花を咲かせてほしいという思いの中、どの種目においても全力で取り組むとともに、競技だけでなく係の仕事や応援でも最後まで諦めず頑張っているみんながとっても輝いて見えました。桜や梅、桃などの花々が咲き乱れるすばらしい運動会だったと思います。児童生徒が協力し競技だけでなく係の仕事や応援も一生懸命に取り組んだからこそ、大成功に終わることができました。



また、終了後には、豊小と豊浜中で、「感謝」の言葉を交換し合うメッセージ交換を行いました。

小中合同防災学習

5月27日(月)
各地域にて

小中合同の防災学習の取組がコロナでの中止をはさみ、4年目を迎えました。今年度は、午前中に、小中別で呉市の危機管理課の方に講師として来ていただき、「呉市の防災について」と題したご講話をいただきました。そして、午後からは、児童生徒がいっしょに避難所に集まりました。



なお、昨年は、自分の家からもっとも近い避難所である「第2開設避難場所」へ行きましたが、今年は最初に避難する、最も大きな避難所である「第1開設避難場所」(豊・豊浜まちづくりセンター、豊小)を訪問しました。それぞれの避難所では、避難所に備え付けられている備品の紹介をしていただくなど、避難所の機能について学ぶことができました。



今年も全国では、土砂災害にみまわれた場所もあります。早めの避難を心掛け、「自分の命は自分で守る」という気持ちで、災害に備えておきましょう。



豊・豊浜まちづくりセンターと呉市危機管理課の皆さん、大変お世話になりました。

小中一貫合同授業研究会

6月24日(月)
豊小学校にて

豊小学校第2学年算数科「かさ」の授業を公開し、合同授業研究を行いました。

当日は、広島大学大学院人間社会科学研究科の松浦武人教授に授業を見ていただき、ご指導をいただきました。



事後協議会では、「児童は、知的好奇心をもって授業に参加していたか」「児童は、課題に対して自分の考えをもち、論理的に表現していたか」「児童は、友達との話し合いや協働を通して、自分の考えを深めていたか」という観点で小中の教員で積極的な協議を行いました。

日々の授業を、より質の高いものにするために、教員一人一人が指導方法の工夫など研究を行っていくことが必要だと改めて感じる事ができた研究会となりました。



今後も、小中合同で研修を行い、ICT機器を効果的に活用しながら、小中一貫教育研究のテーマでもある「主体的・対話的に深く学び、思いを表現する児童生徒の育成」を推進していきます。そして、全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫を充実させていきます。

敬老の日 花プレゼント

9月
両校にて

敬老の日に向けて、両校の児童生徒が協力し、高齢者の方々に折り紙の花を贈る「花プレゼント」を実施しました。



中学校の生徒会執行部が「花の折り方」を作成し、両校の児童生徒がそれを見ながら、日頃の感謝の気持ちを込めて、一生懸命折りました。



この取組は、昭和57年頃、敬老会の有志の方々が中学校に箒や雑巾を寄付していただいたお礼に、生徒が高齢者の皆さんの家を一軒一軒訪問し、生徒が育てた一鉢の花と手紙をプレゼントしていったことから始まりました。

学校統合や小中合同での取組になる等、時代とともに形は変わってきましたが、地域の高齢者の皆さんへの感謝の気持ちは変わりません。

これからも小中が協力して、取組を続けていきたいと思ひます。

